



特集

「農家組合員の所得増大」 に向けた「純情産地確立 『栄』プラン」進捗状況と 年度末見通し



副本部長
照井 勝也



季節のエッセー
いわての野草



文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

「サクラソウ」

(サクラソウ科)

「我が国は、草もさくらを 咲きにけり」と詠んだのは、一茶。かつてサクラソウは、各地の川原に群落をなして生えており、人々に愛されてきた。ところが、このところ盛んに行われている河川の改修工事で、草花の咲き競う昔ながらの川原は、めっきりと少なくなった。1989(平成元)年の6月、日本自然保護協会と世界自然保護基金日本委員会が、野生植物の全国調査の結果を発表した。それによると、調査した5300種のうち、17パーセントにあたる899種が、「絶滅種」か絶滅寸前の「絶滅危惧種」。そしてその原因は、開発による自然破壊が36.6パーセント、山草業者による採集が28.3パーセントだという。サクラソウは、このまま放置すると絶滅の恐れがある「危急種」にリストアップされた。

参考資料：澤口たまみ著『岩手の野草百科』(岩手日報社 平成18年4月20日 第7版発行)より

純情産地発
クララ KLARA vol.824
2018.3

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳に書かれている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

みんなの力で!



がんばろう!岩手
純情産地いわて

contents

季節のエッセー いわての野草	02	純情人	06
みんなの分教場	07	報告!出向く活動班	08
の特集 「農家組合員の所得増大」に向けた 「純情産地確立『栄』プラン」進捗状況と 年度末見通し	03	のん活動記	09
消費地だより	06	ニュースワイドアングル	10

特集 — 「農家組合員の所得増大」に向けた「純情産地確立『栄』プラン」進捗状況と年度末見通し

実施部門	課名	年間		数値目標	成果目標	12月末進捗	進捗コメント	年度末見通し
		年間	行動計画					
畜産酪農部	家畜市場課	和牛繁殖基盤の維持・拡大	緊急増頭対策事業:150頭 生産性向上による増頭(分婉間隔410日、(取組前の現状417日)):50頭 合計 200頭	1.JA担当者を伴わない本会直接巡回可否 2.生産者意見・要望を取り入れた新規基盤対策実施検討 3.地域性のある繁殖牛の保留	△	1.基盤拡大対象農家巡回を実施し、12月末の上場頭数は、中央・県南累計で前年比101%・86頭増と基盤対策効果が見られている。 2.巡回農家の分婉間隔は2年前(28年4月)と比較し平均で9日短縮した。(巡回先農家29戸、生産性向上7頭) ※第1・第2四半期のべ40戸、実戸数29戸の実績	緊急増頭対策 157頭 分婉間隔 414日(H28年度)	
	畜産統括課	和牛改良センター事業(借り腹)産子の斡旋	195頭	1.サルモネラの第2回検査を実施し、清浄化を図るとともにバイオセキュリティ体制の確立を行う。 2.県内優良農場との交流会を行い、生産技術の向上に努める。	◎	1.斡旋会販売頭数143頭。(内、ET産子は42頭) 2.バイオセキュリティ体制としてシャワーゲートの設置による入場車両の消毒を実施した。 3.サルモネラの追加検査を行い、採材牛については全頭陰性で清浄化が確認された。	202頭	
資材部	営農技術課	稲作モデル生産者における手取りの向上	モデル生産者の手取り10%UP	1.実践メニューの分析(坪刈り、分析内容の整理) 2.H29実践メニュー総括 3.モデル生産者巡回面談 4.水平展開の取組具体策の策定 5.モデル生産者実績検討会・研修会の開催要領作成 6.プロジェクト会議の開催	◎	1.実践メニューの実証結果の整理(実践メニューの評価と農家手取り算出) 2.H29実践メニュー総括(実証結果の評価、モデル生産者の要望・意見等の集約等) 3.モデル生産者巡回面談(実践メニューの評価報告と課題・要望等の聞き取り等) 4.水平展開の取組具体策の策定(次期三か年(H31-H33)の取組み(案)の作成等) 5.モデル生産者実績検討会・研修会開催の提案(中間実績検討会等) 6.プロジェクト会議の開催(新しいわて(12/22)、いわて中央(12/21)、県本部(11/28))	農家手取り算出(平成27年度基準) 全体:65.2%増収 米概算金除く:22.0%増収(銘柄切替による増収) 生産費:10.8%削減(肥料費削減が大) 販売比:7.4%増加 生産比:1.7%削減	
農機事業部	農業機械課	レンタル農機利用促進による担い手支援	レンタル日数:140日 ※所有した場合と比較すると平均約10万円の費用削減 [1日10万円×140日=年間:1,400万円削減]	1.レンタル機投資の中で、複数農家にニーズがある型式に投資額をシフトできる。 2.利用履歴のある農家に対し、低価格(中古機)販売が出来る	○	1.実績 稼働日数135日 ※計画比113%削減効果1350万円(トラクタ18日、田植機54日、ピッカー11日、その他8日、ハーベスタ17日、バインダー21日、ジャガイモハーベスタ6日) 2.利用農家へのレンタルアップ機の売却(4条鉄コーティング直播機 EP4-TC)	レンタル日数:140日 [1日10万円×140日=年間:1,400万円削減] トラクタ:18日、田植機:54日、ピッカー:11日、ハーベスタ等23日、バインダー21日、その他13日	
北東北石油事業所	岩手推進課	農業用軽トラックのスタッドレス安価販売	目標:6,210本 通常価格より2割以上のコスト低減 低減金額1,553台×3,250円=5,047,250円	1.達成意識の向上及び各JA・会社の取り組みの強化。 2.さらなる拡販に向けて、これまでの取り組み内容の充実や、他サイズ商品での営業支援の検討。	○	1.中央・県南家畜市場に出展し、予約を受け付けた。出展日数は、延べ10日間。 2.実績:6月~8月出荷本数987本、キャンペーン期間(9~10月)5,021本、合計6,008本の出荷となり、前年比96.7%の実績となった。 低減金額:1,502台×3,250円=4,881,500円	実績:6,008本 1,502台×3,250円=4,881,500円 (計画比:96.7%、前年比:96.7%)	



「純情産地確立『栄』プラン」は、全農岩手県本部のすべての職員が一体となり、具体的な数値目標を着実に実践していくことにより、自己改革を前進させ、結果として「農家組合員の所得増大」と「農業生産の拡大」に資することを目指しています。

今後益々厳しい生産環境が想定されますが、全農岩手県本部は、どんな時でも農家組合員の皆様方の負託に応えつづける組織として、JAの皆様とともに、精進して参る所存でありますので、引き続き本会事業に対し特段のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

はじめに



全農では、「魅力増す農業・農村に向けたJAグループの取り組みと提案」で示した具体策を深化・拡充するとともに、政府が示した「農林水産業・地域の活力創造プラン」で本会に求められている取り組みの具体化を図り、スピードを上げて実践することとしています。

こうした状況を受けて、岩手県本部では、第44回JA岩手県大会の決議に基づき、「農家組合員の所得増大」と「農業生産の拡大」に向けた「純情産地確立『栄』プラン」の実践を、岩手独自の取り組みとして位置づけ、販売・購買事業それぞれ各部門で具体的な数値目標を明示し、達成に向けた進捗管理をしています。

今回は、その「純情産地確立『栄』プラン」の主な取組状況を報告いたします。

平成29年度 純情産地確立『栄』プラン 主な取り組みの進捗状況について

◎:計画を超過 ○:概ね計画通り △:計画から多少の遅れ

実施部門	課名	年間		数値目標	成果目標	12月末進捗	進捗コメント	年度末見通し
		年間	行動計画					
米穀部	米穀販売課	流通コスト低減		27年産:1,200円/60kg基準 28年産:流通コスト1,180円/60kg 29年産:流通コスト1,150円/60kg	1.県内向け販売数量の拡大(前年対比1,000 ^ト 、拡大による輸送費削減) 2.トレーラーの定期運行(四半期で1,000 ^ト の計画達成に向け、増車を含めた出荷体制を整備協議) 3.31フィートコンテナ路線拡大検討による利用増加	◎	【28年産の取組み】 1.概算金利の引下げ 0.1%(▲6円/60kg削減効果) 2.輸送ロット引上げ 11.88 ^ト ⇒12.96 ^ト (全体運賃への低減効果は▲10円/60kg。) 【29年産の取組み】 1.県内向け販売数量の拡大(29年10月-12月期:2,886 ^ト 、前年比+854 ^ト 、142%) 2.トレーラーの定期運行(第3四半期:640 ^ト 、累計:1,877 ^ト) 3.31フィートコンテナ(第3四半期:13 ^ト 、累計:39 ^ト)	28年産:1,175円/60kg(確定)(削減額9百万円) 29年産:1,150円/60kg(見込)
園芸部	生産販売課	加工・業務用野菜の拡大		7,200トン 660百万円	1.玉ねぎ生産技術の確立 (1)課題整理と次年度対策の検討 (2)レンタル機については本所保有機も含めた次年度利用計画の検討 2.キャベツ・ニンジン・ほうれんそう生産技術 (1)キャベツ:定植時期別の適品種選定 (2)ニンジン:課題整理と次年度対策検討 (3)ほうれんそう:課題整理と次年度対策検討(反収向上、病害虫防除、除草)	△	1.玉ねぎ生産技術の確立 (1)春植え・秋植えタマネギ栽培研修会、現地実証2か所、栽培試験1か所実施 (2)レンタル機稼働状況:12月末実績75日(29計画143日、進捗率52%) 2.キャベツ・ニンジン・ほうれんそうの生産技術確立 (1)展示圃の実施、品種試験の実施 (2)玉ねぎ:402 ^ト 、金額22.9百万円、前年比167%、キャベツ:1,781 ^ト 、金額118百万円、前年比114%、ニンジン:15.7 ^ト 、金額0.9百万円、ほうれんそう:60.9 ^ト 、金額9.1百万円、前年比107% 累計実績(4-12月)数量5,864 ^ト 、前年対比107.6%、金額635百万円、前年対比:105.8%	6,037トン 653百万円
	花き資材課	青果物段ボールの規格統一によるコスト低減		規格統一7品目 (26~29年度で累計15品目の規格統一)	1.なすDB統一規格決定に向けた進捗管理徹底 2.原紙価格高騰基調を踏まえたJAへの資材情勢連絡徹底	○	1.なすネットワークで、JA担当者に20袋入DBを新規格とすることを提案。 2.コスト低減見込み。レタス(対象1JA ▲10.0円)キャベツ(対象5JA ▲6.6円)トウモロコシ(対象5JA ▲5.5円)ながいも(対象1JA ▲32.0円)アスパラガス 対象1JA ▲12.0円)にんにく(対象1JA ▲52.0円)	規格統一7品目 (26~29年度で累計15品目の規格統一)

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地販売部 発

消費地だより

第28回「いわて牛」枝肉共励会

1月26日、東京食肉市場において、第28回「いわて牛」枝肉共励会が開催されました。この共励会は、産地関係者及び首都圏買参者との情報交換を通じて「いわて牛」の評価向上を図ると共に、いわて牛普及推進協議会会員相互の肥育技術研鑽による生産意欲の高揚を図ることを目的としており、今回は雌25頭、去勢35頭、計60頭の出品で開催され、最優秀賞はJA新いわての釜石善八さんが受賞され、3,502円/kg(620kg)の単価がつけました。

また、前日には市場関係者・取扱指定店・生産者 農協約230名が集まり「いわて牛の集い」が開催され、純情産地いわて宣伝本部長の「のん」さんも駆けつけ、大いに盛り上がりました。共励会は体型、造りが良い牛も多く、生産者の方々の日々の努力が形となって現れました。純情むすめも応援に駆け付け当日のセリに花を添えてもらい、平均販売単価は現在の相場より高く取引をしていただきました。市場購買者の方々は「いわて牛」を精一杯応援していただいております。首都圏にも「いわて牛」のファンが沢山いらっしゃいます。畜産情勢は非常に厳しい中ですが、生産者と消費者の懸け橋になるように「純情産地いわて」として安全・安心かつ美味しい「いわて牛」をお客様に届けるため、日々取り組んで参ります。

第28回「いわて牛」枝肉共励会成績表

販売成績	頭数	平均枝肉重量	平均販売単価	平均販売金額
雌	25頭	472kg	2,556円	1,207,620円
去	35頭	555kg	2,442円	1,359,995円
合計	60頭	520kg	2,489円	1,296,505円

入賞区分	JA名	氏名	性別	枝肉重量	単価	販売金額
最優秀賞	新いわて	釜石 善八	去勢	620kg	3,502円	2,171,240円
優秀賞	いわて平泉	高泉 茂美	去勢	493kg	2,953円	1,455,829円
優秀賞	岩手ふるさと	千葉 辰美	去勢	600kg	2,834円	1,700,400円
優秀賞	いわて花巻	株式会社開発農産	雌	512kg	3,280円	1,679,360円
優良賞	いわて平泉	小山 平治	去勢	507kg	2,941円	1,491,087円
優良賞	岩手ふるさと	後藤 久次	雌	427kg	3,313円	1,414,651円
優良賞	岩手ふるさと	及川 秀信	雌	439kg	2,916円	1,280,124円
優良賞	岩手ふるさと	(有)千葉畜産	去勢	555kg	2,653円	1,472,415円
優良賞	江刺	南菊地畜産	雌	522kg	2,789円	1,455,858円



セリ風景写真



いわて牛の集い



消費地販売課 高橋 司

みんなの分教場

JATロ箱式養液栽培 「ういずOne」の低コスト技術

園芸部 生産販売課 技術主管 菊池 利行

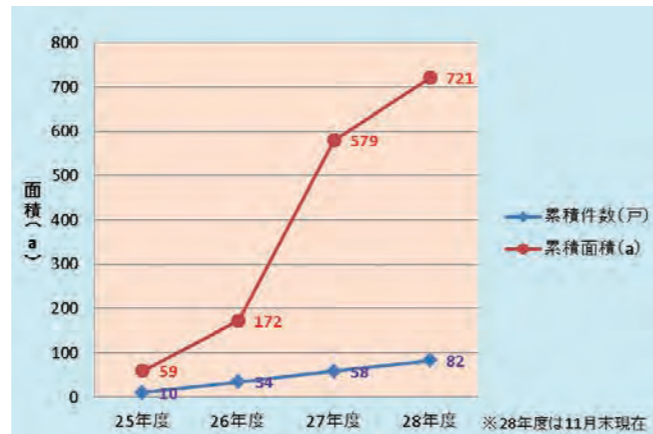
図2 栽培中のミニトマト「アンジェレ」



1 栽培面積 (図1)
全農が開発した低コスト養液栽培システム「ういずOne」栽培は全国規模でその生産が拡大しており、平成28年現在82戸721aに導入されています。岩手県でも9戸52aまで拡大してきました。集落営農組織を中心に水稲育苗後のハウス有効利用や土壌病害の対策として栽培が増加しており、問い合わせも多くなっています。

2 品目 (図2)
岩手県では「ういずOne」を利用した栽培のほとんどがミニトマトで全体の95%、残りの5%がトマトとなっています。面積は3~5aが中心ですが、中には10aを超える経営体も出現しています。収量も栽培期間が限られる中で反収5tを超す生産者

図1 ういずOne面積と栽培者の推移



3 コスト削減のための給液法 (図3、4)
栽培を重ねることに技術が向上し、反収は向上してきました。次のステップとしてさらなる低コスト化が必要です。「ういずOne」をはじめとする養液栽培の給液方式は設置コストの安い1液式とラニングコストが安い2液式があります。面積の大きい生産者には2液式を推奨していますが、現状では1液式が多数となっています。

全農では2液式用の低価格新肥料「アクワン」を開発し、昨年から現場で使用しています。この肥料の特性は肥料代が安いことで、1液式と比較して2割程度割安となります。

図4 給液装置の違い



左が2液式給水装置。右の1液式と比べて溶解タンクと液肥混入器が増えている。導入コストはその分高い。

図3 2液式の仕組み



2液式はタンクが二つ必要。それぞれに複合肥料と硝酸石灰が入る。肥料が安くランニングコストが安い。

4 今後の取り組み

昨年の結果では従来の1液式と比べて生育や収量は同等と判断しています。今後の取り組みは、全農では栽培マニュアルを充実させ、収量の向上をはかることも、これからは低コスト化や省力化による所得安定に取り組んでいきます。

JA全農いわての純情人

趣味・特技

趣味: お酒を飲むこと、ラーメンの美味しい店を発掘すること
特技: ダンスやダブルダッチで魅せること、モノマネをすること

現在の担当業務

段ボール資材・包装資材等の受発注や実績の取りまとめ、価格設定、各資材情勢の取りまとめ等を行っています。

これからどんな職員になってみたいか

誰からも「元気な人」「信頼できる人」と思われるような職員になりたいです。そのために、業務の中で関わる方々に対して、積極的にコミュニケーションをとることを意識していきたいです。



園芸部 花き・資材課 やまもと げんき 山本 玄輝さん

趣味・特技

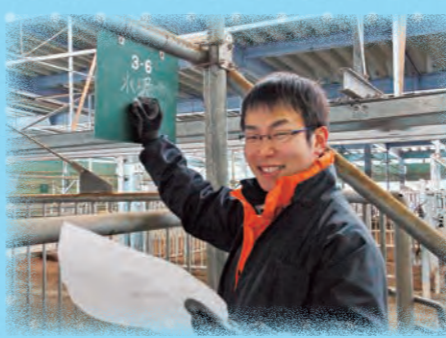
バスケットボール、釣り(特に渓流釣り)

現在の担当業務

現在、中央家畜市場で行われる和牛子牛市場の名簿作りや、市場当日の開設準備、出荷対応などを行っています。

これからどんな職員になってみたいか

日ごろ、県内の農協の方々には大変お世話になっており、今後各農協の方々の信頼と協力を得て、県内の地域の農業を活性化していける職員になりたいです。



畜産酪農部 畜産市場課 もうり だいち 毛利 大地さん

報告!



出向く
活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班
新沼 真也

光合成促進機研究会（JA全農いわて）
いわて平泉施設園芸環境制御研究会（JAいわて平泉）
の合同研修会実施について

JA全農いわて資材部エネルギー課では、平成29年度6月にプロパンガス（以下LPガス）を用いた二酸化炭素発生装置による「光合成促進機研究会」を立ち上げ、実施モニターを募集し、JAいわて平泉の平成27新規就農者である「阿部和恵さん」をモニターとしてスタートした。

一方、JAいわて平泉園芸課では、施設園芸環境制御研究会の募集を行い、小山智氏



園主の阿部和恵さん



炭酸ガス発生機
タンセラ TC-100S



タンセラで発生させた炭酸ガスを暖房機の送風機能を使い、ダクトでハウス全体に供給する。

を会長として19名が集い研修会をスタートさせた。双方共に関係行政との連携と指導を得ながらの実施である事から、今回、平成30年2月8日に、JAいわて平泉管内で、「LPガスを用いた二酸化炭素発生装置の実用と効果について」の合同研修会が実施された。

LPガス使用による光合成促進機の実用と効果について

- ◇発生装置
- (1) 機種名：光合成促進機「タンセラTC-100S」2台
- (2) 設置：単体



燃料：プロパンの設置

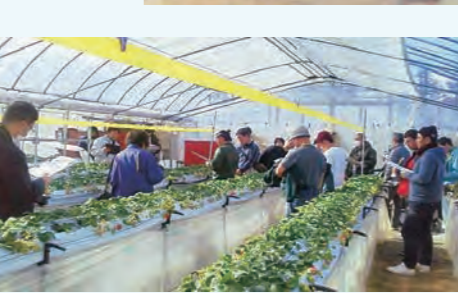
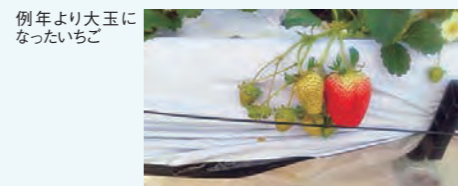
- ◇運用
- (1) 設置稼働：平成29年10月24日～
- (2) 温度とCO₂設定（11月下旬～）：①6時～10時 18℃ ②10時～15時 20℃ ③15時～16時 15℃ ④16時～6時 8℃
- ・CO₂濃度は、下限：800ppm 上限：1000ppmで設定。
- ◇耕種概要
- (1) 品種：さちのか (2) 定植日：9月23日 (3) 面積：6㎡ (4) 圃場：一関市花泉字松沢47 (5) 園主：阿部和恵さん
- ◇1月末収量：平成27年度比：14%、平成28年度比：11%と伸長しており、光合成促進機の効果は出ていると思われる。
- ◇費用対効果：昨年同時期の暖房費支払額に比べ、重油代とガス代を併せても今年の支払額が少ないことから、費用対効果も上がっていると言える。
- ◇今後の留意点：炭酸ガス濃度を上げることによって、光合成が促進され呼吸量も増えることから、その分養分と水分が必要となるので、灌水量と水溶液の補充が必要となるので指導があった。



コントロールは制御盤で行い、発生装置と暖房機をケーブルで接続し連動させている。

ではCO₂がハウスの中ほどこまでしか届かなかった事から、発生装置を暖房機の送風口に向けて設置し、ダクトでハウス全体に行き渡るように設置。(3)制御：CO₂コントローラーを発生装置と暖房機に連動させ、CO₂濃度と温度を設定し制御している。

◇所感
今回研修を受けた環境制御研究会のメンバーは、トマトやナスを栽培している生産者が多いが、品目が違っても植物体の生理・生体に関する事項である事から真剣な眼差しで研修を受けていた。植物体への影響度合いとして、土から上の環境（光・温度・炭酸ガス・湿度等）は92%で、土壌内（水分・養分等）の影響度合いは8%程度と言われており、品目毎のより良い環境を整え、収量の増大と販売額のアップに努めて欲しいものである。



例年より大玉になったいちご



プロパンガスを用いた二酸化炭素発生装置について一関普及センターより説明を受ける。

JA担当者の成果説明を受ける環境制御研究会のメンバー。



純情産地いわて
宣伝本部長「のん」
いわて牛をPR

1月25日(木)
純情産地いわて宣伝本部長「のん」さん
いわて牛PRイベント

1月25日(木)、純情産地いわて宣伝本部長を務めるのんさんが、東京都品川区で、「平成29年度いわて牛の集い」に参加しました。食肉市場の関係者や買参人、産地関係者らが出席し、いわて牛のブランド確立に向けて、情報交換を行いました。のんさんは、特別企画に登壇。達増拓也県知事と対談をし、いわて牛の美味しさをPRしました。

また、のんさんは、1年間の活動を振り返り、「実際に生産者の方と一緒に、農作業を体験しましたが、とても楽しかったです。田植え機やコンバインも初めて操作しましたが、すごくワクワクしました。岩手は第2の故郷で、私にとって大切な場所です。これからも農畜産物をPRし、応援していきたいです。」と述べました。



いわて牛五ツ星ステーキが振る舞われました



いわて牛のぬいぐるみを持ち、記念撮影



達増知事と対談するのんさん



華やかな白地のワンピースに身を包んだのんさん

高品質の生乳生産技術を称える

2月9日(金)

岩手県乳質改善協議会設立50周年記念式典・平成29年度岩手県乳質改善大賞表彰式

岩手県乳質改善協議会は、2月9日(金)に、盛岡市内のホテルで、岩手県乳質改善協議会設立50周年記念式典および平成29年度岩手県乳質改善大賞表彰式を開催しました。県内酪農関係者約90名が参加。この表彰式は、消費者の「食の安全・安心」への関心が高まる中、日々生乳生産技術の向上に努め、継続的に高品質な生乳を生産している農家を表彰し、本県の乳質のさらなる向上を図ることが目的です。

今年度の大賞受賞者は、過去最多の19名となりました。年間出荷乳量や乳質、乳成分などの厳しい基準を満たした農家を選ばれます。また、今年度は、10回目の表彰式となることから、過去の表彰者から、多数回表彰された方に特別表彰をしました。岩手県乳質改善協議会藤村明智会長は、「長年にわたり、良質な生乳を生産することは容易なことではありません。受賞した酪農家の日頃の努力に敬意を表します。」と述べました。

岩手県乳質改善協議会は、今年度で、設立50周年を迎えまし

た。記念講演として、本会畜産酪農部生産指導課の津信一課長が、50年の歩みを振り返りました。



過去多数回表彰を受けた、特別表彰者

和牛子牛の品質向上を目指して!

2月1日(木)

平成29年度 和牛女性研修会

いわて和牛中央育種組合と県南和牛育種組合は、花巻市のホテルにて平成29年度和牛女性研修会を開催しました。県内で和牛の繁殖に携わる女性や、JA職員など約330名が参加。県南和牛育種組合の小澤隆一組合長は「和牛繁殖の飼養管理は女性の役割が大きい。研修で学んだことを和牛の品質向上のため活かしてほしい」と挨拶しました。

研修会では、畜産情勢報告がなされたほか、岩手県種山畜産研究室より「県有種雄牛」の紹介が行われました。

また、県北家畜保健衛生所の今野一之上席獣医師より「冬期の飼養管理について」と題し、分娩前後の母牛管理や子牛の冬期管理等のポイントを講演頂きました。

第2部の懇親会では、各地域より踊りや歌が披露され地域の垣根を越えた交流ができました。



まだまだ外は寒く雪景色ですが、気づけばもう3月。社会人1年目が終わろうとしています。何もかもが初めてのせいなのか、今まで生きてきた中で、時が経つのが1番早い1年でした。こんなに、毎日が過ぎることに惜しさを感じるのも、初めてです。

3月は、新年度へ向け改めて気を引き締め、一年間を振り返る一月としたいと思います。新年度も、どうぞ宜しくお願いいたします!!

(佐藤)

「いわて牛」の評価向上へ

1月26日(金)

第28回いわて牛枝肉共励会

JA全農いわてといわて牛普及推進協議会、岩手県は、東京都品川区にある中央卸売市場食肉市場で、「第28回いわて牛枝肉共励会」を開催しました。産地関係者及び、首都圏買参人等との情報交換を通じて、「いわて牛」の評価向上を図るとともに、生産者の相互研磨による生産意欲の高揚を図ることが目的です。

県内で生産された黒毛和種肥育牛、雌25頭、去勢35頭の計60頭が出品されました。平均枝肉重量は520.3kg(昨年:509kg)、販売単価は2,489円(昨年:2,670円)、5等級・4等級の比率は、96.6%を占めました。

岩手県農林水産部の紺野由夫部長は、せりの結果を受けて、「生産者の技術の高さが反映された結果となりました。さらなる発展を見据え、共励会を通して、技術の向上、生産者同士のネットワークを広げていただきたいです。」と挨拶しました。

祝辞として、東京食肉市場株式会社の大塚勇常務取締役は、いわて牛について、「美味しい。なんといっても、脂質が他産地に負けない強みであり、ファンが多いです。」と評しました。

最優秀賞には、JA新いわて(奥中山)の釜石善八さんの出品牛

が選ばれました。枝肉単価は、3,502円と平均を大きく上回りました。公益社団法人日本食肉格付協会 関東支所 厚地正洋支所長は、「非常に厚みがある。サシも色も良く、肉質が立派です。」と講評しました。



岩手県農林水産部の紺野由夫部長(左)から表彰を受ける、最優秀賞者の釜石善八さん

スポーツに励む子どもたちを応援

2月18日(日)

第40回岩手県スポーツ少年団柔道大会

2月18日(日)、盛岡市の会場で、JA全農いわてが特別協賛している、「第40回岩手県スポーツ少年団柔道大会」が開催されました。小学生4・5・6年生男女287名が、日頃の練習の成果を発揮しようと試合に臨みました。

本会は、個人・団体の入賞者に、ハムの詰合せやいわてサーロイン牛、県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」等を贈呈したほか、参加者全員にいわて純情もちやりんごジュース、県産牛乳、オリジナルハンドタオルを提供しました。

団体試合の優勝チームである、「三船記念館A」は、全国少年柔道大会(平成30年5月講道館で開催予定)の出場権を獲得しました。



白熱した戦いとなりました

男子個人の部

	氏名	所属
優勝	松川 咲埜	直心館
準優勝	矢澤泰千	盛岡柔道
3位	菊池央太郎	修練館
	吉田大空	大宮

女子個人の部

	氏名	所属
優勝	福田小桃	盛岡
準優勝	佐藤 凧	時習館
3位	菅野琴未	石鳥谷
	橋場萌未	紫波

団体の部

	所属
優勝	三船記念館A
準優勝	時習館
3位	江刺柔道スポーツ少年団A
	県営武道館



みなさんの健康が私達の願い



人間ドック を受けましょう

どなたでも受診できます。お申し込みは最寄りのJAもしくは、JA岩手県厚生連までどうぞ。



大切なのは 早期発見・早期治療

一日人間ドック

特徴

- がん・脳血管疾患・心臓疾患など生活習慣病を中心とした約70項目を検査。
- 市町村が実施する各種検診を一日で検査できます。
- 年間約80例の各種がんを発見。
- 脳MRI・MRAや腫瘍(がん)マーカー・超音波・ヒロリ抗体などオプション検査も充実。
- 女性のための乳房検査がセットでお得。(乳房X線:40歳以上、乳房超音波:39歳以下)
- 県内全市町村の補助を利用できます。

検査料金

(消費税8%を含む)

基本料金 **48,600円** JA取扱料金 **[男性] 42,120円 [女性] 42,660円**

※市町村およびJAからの補助・助成については、最寄りのJAまたは市町村担当課にご相談ください。

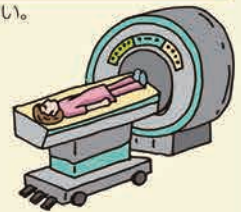
脳MRI・MRA機器が新しくなりました
 …しかもお安くなりました
「脳血管疾患の気になる方」へおすすめ

- 最新鋭のMRI導入
- 検査時間短縮と画像精度アップ

脳MRI・MRAで見つかった症例

(平成28年度)

- 脳梗塞(5例)
- 脳梗塞疑い(1例)
- 脳動脈瘤(5例)
- 脳動脈閉塞(2例)
- 慢性脳梗塞(2例)
- 脳動脈拡張(1例)
- 無症候性白質病変(1例)
- 頸部血管狭窄(1例)



検査時間

● 所要時間: 約7時間

8:00~8:30

受付

8:30~

検査

11:00~

昼食(健康定食)

13:00~15:30

診察・健康支援

専門ドック

料金お安くなりました

脳・心臓・肺ドックは組み合わせて受診することができます。

脳ドック
 MRI・MRA検査を中心とした脳専門のドックです。
50,760円



肺ドック
 肺全体を隈なく撮影できる検査を中心とした肺専門ドックです。
27,324円



心臓ドック
 心筋梗塞等心疾患を早期に発見する心臓専門ドックです。
31,644円



レディースドック
 女性が気になることを細かくチェックする女性専門のドックです。
21,600円



人間ドックセンター(盛岡)での受診となります。

※一日人間ドック・オプション検査・専門ドックは全て予約制となります。また、検査項目の詳細および組み合わせ専門ドックの詳細につきましてはホームページをご確認ください。



JA岩手県厚生連 人間ドックセンター
 〒020-0834 盛岡市永井14-42
 ☎ 019-637-1910 FAX 019-637-1964



JA岩手県厚生連 県南センター
 〒029-4503 胆沢郡金ケ崎町西根前野209-1
 ☎ 0197-44-5141 FAX 0197-44-5144

岩手県内JA・JA岩手県厚生連 検索
 (検査機関:公益財団法人 岩手県予防医学協会)



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
 安心で結ぶ懸け橋**
 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
 JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

